

「むかしの土しゃさいがいをわすれないで」

高松市立木太南小学校 2年 山田 茉央 さん

わたしのおばあちゃんのりょうしんは、土しゃさいがいでなくなりました。香川県の小豆島というところで、とてもむかしに大雨がふって、土しゃさいがいがおきて、おばあちゃんのりょうしんはうみまでながされてしまったそうです。

さいきんのニュースでもよく、「土しゃさいがい」ということばをよく聞きますが、「すぐにひなんをしてください。」

とひっしに言っているところをよく聞きます。

しかし、むかしは、さいがいについてのニュースがすぐにテレビで言うような時ではなかったし、今みたいにひなんしじがすぐに出たり、どこがひなん場所になっているかもきちんときめられていなかったと思います。また、けいたいでんわがなかった時だったので、かぞくがだいじょうぶかをかくにんすることもむずかしかったと思います。

今は、土しゃさいがいがおきそうな時は、早めにニュースでよほうがされていますし、あぶない時はけいたいでんわから大きな音がなって、ひなんするようメールがきたりしています。

また、りょうしんから聞くと、ハザードマップというものが作られていて、さいがいがおきたときに、どこでどのようなさいがいがおこるかを地図にしたものがあり、どこにひなんをしたらよいかも書かれています。そういった地図をかぞくみんなでかくにんして、さいがいがおきた時にどうするかを考えておくひつようがあると思いました。

また、香川県高松市では、「たかまつあんしんバンドナ」というものが2023年4月に、市のひなん所におかれているそうです。バンドナには、「目が見えません」や、「耳が聞こえません」と書かれていて、さいがいがおきた時に、しょうがいのある人がみにつけることで、まわりの人にたすけてもらえるようにするためにしています。

かぞくでさいがいについてきちんと話しあっておくこともだいじですが、ちょっとしたくふうでさいがいの時にやくにたつものを作ってしえんすることもだいじであると思います。

れいわ6年7月には、えひめ県松山市の松山じょうのちかくで土しゃさいがいがおきました。おきないだろうと思われていたところでおきてしまい、ひなんにおくってしまった人が多かったのです。

これからさいがいがおきても、ひがいにあう人が少しでもへってほしいですし、さいがいがおこってこまった人たちがこまらずに生活できるようになっていけばいいなと思います。